

成果物納品

- 現状の課題と対応策
- 今後の運営計画

2025年5月26日



本日の内容_成果物

1. 東山プレイファーム & 棚田ごはんの活動概要
2. プロジェクトのスコープ
3. 活動実績
4. 現状の課題と対応策（中間報告内容）
5. 今後の運営計画
6. 検討資料（データ）

- 活動の現状とありたい姿

- 参加者アンケート集計データ

7. 参考資料

- 自然活動団体の参考事例

- 参加費の検討案

- 他団体のHPの参考事例

- ホームページの構成案

- 業務改善のための業務の見える化案

1. 東山プレイファーム&棚田ごはんの活動概要

ビジョン

里山での農体験・自然体験を通じ、里山で過ごす時間の提供・自然農の技術習得、自分で食べる物を作る人を増やす。食料自給率の増加・里山へ通う人の増加・移住者の増加・過疎の解消・耕作放棄地の減少・自然保護などを進める。災害時にも対応できる、持続可能な暮らしを、大人も子どもも地域の方も街に住む方も年寄りも、自分にできること・得意なことをして助け合いながら繋がり合い楽しく遊びながら暮らしを紡ぐモデルとなる

コンセプト

プレイファーム

大人も 子どもも お年寄りも 童心になり 田んぼと畑で遊ぼう ♪
自然栽培で野菜やお米を育て、収穫する 1年を通じた農体験ができる場所
収穫した野菜を使い 野外で作る料理 薪で炊く ご飯
里山の「お仕事」が「遊び」になり「冒険」になる
空と 太陽 草や木々を揺らし 吹き抜ける風を感じ そこに住むいろんな生き物や植物を 眺め 触れ 心と身体 すべてを使い 好奇心を叶える場所

棚田ごはん

棚田で育ったお米と、無農薬・無化学肥料で育てた野菜達を畑から収穫してすぐの、最高に美味しい時に食べて欲しい！
遊びに来た人が、誰でも気軽に地元の方達とも、一緒に交流したい！

2. プロジェクトのスコープ

- 東山プレイファーム & 棚田ごはんの現状の課題と今後の対応策を整理する
- 東山プレイファーム & 棚田ごはんの今後の運営計画（今後1年間）を作成する
※3年後に運営安定定着化

3. 活動実績

実施日	活動内容	備考	現地参加者
2月15日（金）	キックオフミーティング		
2月20日（木）	関係者ヒヤリング	工藤さん、萬正さん、永谷さん、本田さん	
3月8日（土）	棚田ごはん_現地訪問	ジャガイモ植付け／首藤さん、矢野ご夫妻	むすびえ:光田、ミニー、仙
3月18日（火）	他団体事例調査	寺子屋方丈舎	
3月22日（土）	東山マーケット（第4土）		
3月29日（土）	棚田ごはん_現地訪問	にんじんの種まき、自然観察	仙 ※参加者アンケート回収
4月12日（土）	中間報告	現状の課題と今後の対応策など	
4月20日（日）	棚田ごはん	筍掘り、落収穫_椿地区	
4月26日（土）	東山マーケット		
4月29日（火）	棚田ごはん	ジャガイモ土寄せ、コーン種まき	
5月17日（土）	成果物事前確認	今後の運営計画など	
5月18日（日）	棚田ごはん	デコ雑巾作り、エミュー	
5月25日（日）	棚田ごはん_現地訪問	ジャガイモ、コーンのお世話	ミッチーファミリー、仙
5月26日（月）	最終報告	成果物納品	

青地：東山プレイフォーム+棚田ごはんの活動

4. 現状の課題と対応策 ■ヒアリング・アンケート調査の概要

東山プレイファーム&棚田ごはんに関わっている方々に対して、ヒアリングを実施しました。

調査目的

- 代表の活動に対する思いや悩み、および運営実態を明らかにする
- 地域の魅力や本活動への期待や課題を明らかにする
- 参加者の参加動機や活動の魅力、ニーズを明らかにする

調査対象者 * 敬称略

- 運営関係者：佐藤佳苗（代表）、工藤永瑠江（副代表）、萬正直子
- 地元協力者：矢野夫妻（地主）、永谷浩司・本田紗代・首藤れいこ（地元移住者）
- 参加者（アンケート）：10名以上（13名回答、地元協力者含む）

4. 現状の課題と対応策

■代表ヒアリング結果_現状とありたい姿

項 目		現 状	ありたい姿 (2～3年後)	課 題
活動方針	実施内容	・開催：月2回 ・人数：15～20名/回 (未就学児と小学生)	・現状維持	・参加者数の安定確保
	運営管理	・代表がほぼ担っている スタッフ：3名	・SNS担当が追加 ・後継者育成が始動	・業務の内容見える化 ・役割整理、分担
	現場指導	スタッフ2名他2名	・地域の方や参加者が 加わっている	・現場指導内容リスト化 ・協力、参加への仕掛け
人	現地 サポーター	・矢野夫妻＋移住者仲間	・学生ボランティア受入れ	・活動主旨への賛同、人選 ・交通手段の確保
	土地家屋 設備など	・山の口矢野邸中心 (かまど、離れ、蔵、畑など)	・椿の家も活用 (主はフリースクール)	・山の口と椿の家の価値の 見える化
モノ	食材	・協力者からの提供＋購入	・自給自足(無農薬)中心	・獣害対策
	年間収支 (詳細:次頁)	・約7万円」弱の赤字 (スタッフ、現場指導者への 謝金と矢野邸電気代なし)	・スタッフ謝金、矢野邸電 気代を支払っても黒字化	・収入増の工夫と仕掛け (助成金、寄付、参加費)
カネ				

詳細は検討資料「活動の現状とありたい姿」参考

4. 現状の課題と対応策

■代表ヒアリング結果_活動費用収支の現状

項目（*将来想定項目）		こども食堂			フリースクール 目標金額	備考
		R5年度	R6年度	目標金額		
収 入	別府市からの補助金		114,363	120,000		1万円/月、年度の活動終了後に入金
	大分県からの補助金	55,000				5～8万円/年
	ボランティア保険		12,320	13,440		560円/回
	活動参加費		72,100	72,100		大人500円、子供300円/人
	* 寄付金	71,974	10,000	70,000		ミライ信金18,000・クラファン53,974・寄付
	* 事業収入		8,400			製作販売（味噌）など
	利用料				2,400,000	2,500/1人×10人×月8日
	スポンサー企業					
	合計	126,974	217,183	275,540	2,400,000	
支 出	食材費		116,333	120,000	120,000	5千円/回
	消耗品費		108,660	120,000	120,000	4千円/回
	ボランティア保険料		13,400	13,440	13,440	560円/回
	その他支出（現時点）					
	* スタッフ謝金			720,000	2,880,000	1万円/回人
	* 地代家賃・水道光熱費			72,000	228,000	3千円/回
	* 備品費		46,837	10,000	50,000	什器備品（上記材料費に含まれる?）
	* 修繕費					
	* 旅費交通費					スタッフ移動費など
	* 広告宣伝費				40,000	募集・活動報告チラシ（HP作成費含まず）
	合計	0	285,230	1,055,440	3,451,440	目標金額トータル 4,506,880
収 益		126,974	-68,047	-779,900	-1,051,440	-1,831,340

4. 現状の課題と対応策 ■参加者アンケート結果

- 1.参加のキッカケ：その他は代表の移住者仲間、畑仲間であり“主催者つながり”が多くを占める
- 2.活動の魅力：参加のキッカケが主催者つながりのせいもあり、“人”がトップ、SNSでの参加は“活動”を重視
- 3.参加の意向：毎月参加が“約4割”あり、メンバー固定のイメージになっているのでは？
10年以上かかわりたい方が“4割”、スタッフやサポーターの候補者（すでに？）として有望
- 4.参加費：参加費アップ了承者は半分強で条件付きを含めると“7割”に達する
- 5.紹介の意向：“ほぼ全員”が紹介の意向があり、運営側のキャパが課題
- 6.活動の活性化提案：広報2件、スタッフ負担軽減1件、メニューや名札の提案もあり

参加のキッカケ



参加回数



参加費アップ



活動の魅力（1位）



参加年数



紹介意欲



詳細は検討資料「参加者アンケート集計データ」参考

4. 現状の課題と対応策 ■活動現場体験・見学の結果

参加イベントについて

- 日程：3月8日、（3月29日）
- スタッフ参加者：佐藤代表、工藤副代表（調理担当）、葛城（自然観察員）
- 参加者：代表の娘、副代表の孫、地元移住者3姉妹、米国出身の親子（初参加）
矢野夫妻（地主）、永谷（エミュー）、
- チームイベント参加者：むすびえ_光田、野正、荒金、（3/29：荒金）

参加の気づき・示唆

- 自然に囲まれ、参加されていた地主、地元移住者との関係性は良好で協力の意識も高い
- 主催者が準備全般、農作業指導と忙しく、プレイングマネージャーという印象
- 代表以外の現場指導者の方々も他の用事もありフル参加は厳しい状況
- 地主さんも参加のお子さんとお会ふのを楽しみにしているが月1回程度が理想



子ども食堂：離れと蔵



おくど、かまど



農作業：ジャガイモ植付



調理手伝い



自然観察

4. 現状の課題と対応策 ■ヒアリング・アンケートまとめ

SWOT分析

強み	弱み
- 代表の人柄、人望がある - 山の口の自然、景観が素晴らしい - 子どもが様々な体験、活動ができる - 地主や地元移住者との連携が良好 - おくどや釜での調理ができる	- スタッフやサポーターが少ない - 運営費が不足している - 開催回数、人数に制限がある - 市内から遠く、公共交通機関もない - 情報発信はFacebookのみで弱い
機会	脅威
- 東山小中学校の子供たちが多い - 地元住民の参加が増えている - 協力者に商工会議所会員がいる - 協力者に農業法人がある - 活動を紹介したい参加者が多い	- スタッフや現地指導員の参加率低下 - 助成金の縮小 - 獣害による農作物被害、未収穫 - 地域の過疎化、住民の高齢化 - 物価の高騰、景気の後退

4. 現状の課題と対応策

■ 現状の問題点と取組課題

現状の問題点

- スタッフが少なく（固定メンバー3名）イベント運営が安定しない
- 企画～運営全般に至るまで、佳苗さんの負荷が大きい
- スタッフの好意に全面的に支えられており、謝金を払うことができていない
- スタッフ都合に依存するため、早めにスケジュール/プログラム内容を確定することができない
- 収支が赤字で、現在の運用では黒字化の目途が立たない

取組課題

- **持続的・安定的な運営基盤**を構築するための
 1. 人材（スタッフやボランティア）の確保および継続
 2. 活動資金の調達および継続

4. 現状の課題と対応策

■ 他団体の事例_NPO法人寺子屋方丈

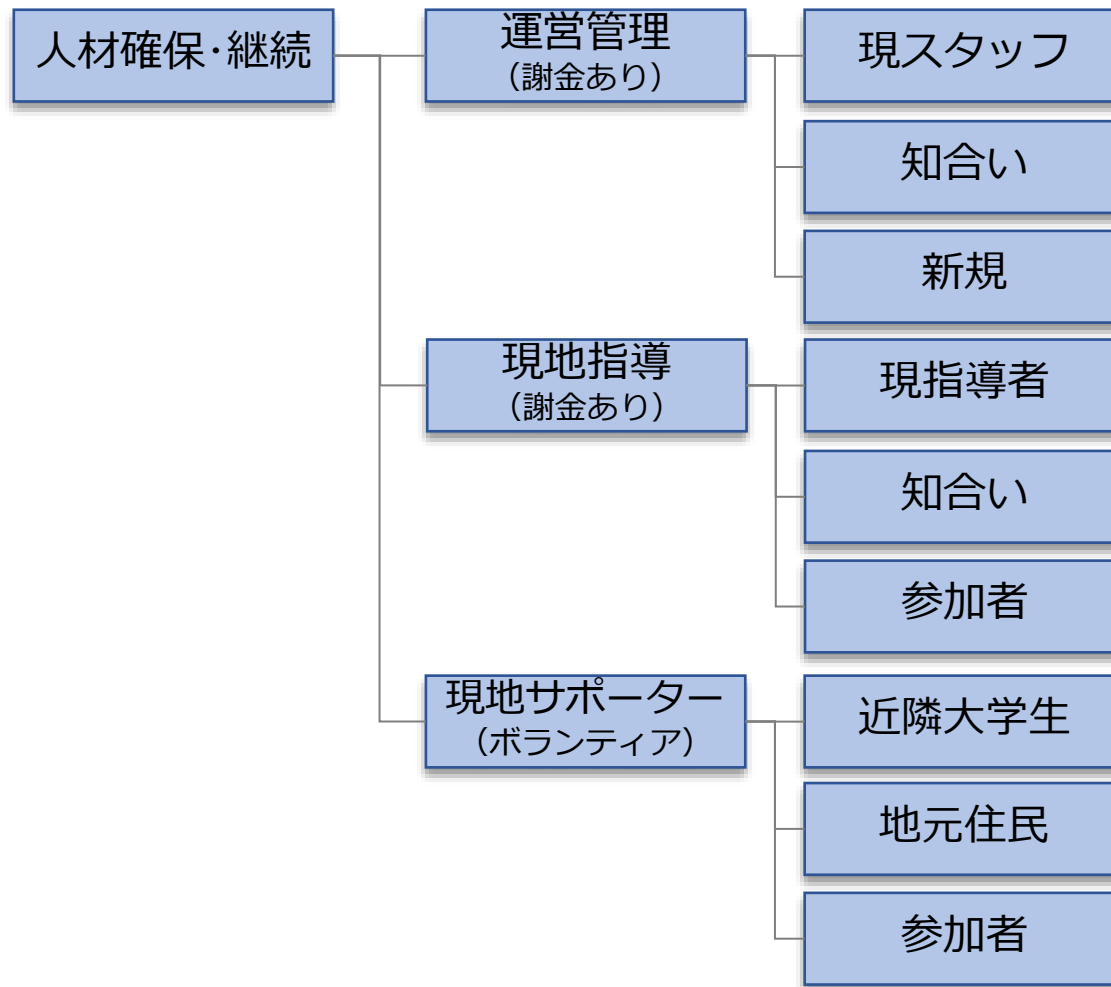
団体概要	法人設立：2001年2月27日（任意団体設立1995年5月1日） 所在地：会津若松市 営業時間：火曜日～土曜日 10:00～18:00 定款・就業規定・給与規定・リスク管理規定・経理規定など有り
活動概要	子ども食堂（週2回） 小～高校生対象の学校外の学びの場（フリースクール5ヶ所） 自分の中での選択肢を増やしてゆく学びの実践、「子ども主体の学び」の実践
参加者数	こども食堂 4ヶ所：延べ1769人（233回実施） ボランティア参加延べ人数：489人
運営スタッフ数	常勤8名 非常勤1名（2020年9月現在）
人材確保の方法	HPにて 地域×フリースクール×サポーターで運営！ マンスリーサポーター（フリースクール）100人集める アルバイト募集：ジブン塾の学習支援スタッフ（時給 1,100 円（交通費込み） ボランティア募集：こども食堂の調理・遊び・学習ボランティア、フリースクール
資金調達の方法	地域連携によるこどもの社会参画プロジェクト：月500円～10,000の寄付 全体の7割がこども食堂、3割がフリースクール 助成金：行政、赤い羽根共同募金、日本財団など
広報活動	HP、Facebook、公式LINE、Instagram
運営上の課題	ボランティアの継続参加、教育が課題

4. 現状の課題と対応策

■ 今後の課題と対応策（案） - 1/2

持続的・安定的な運営基盤を構築するために・・・

必要なアクション（案）



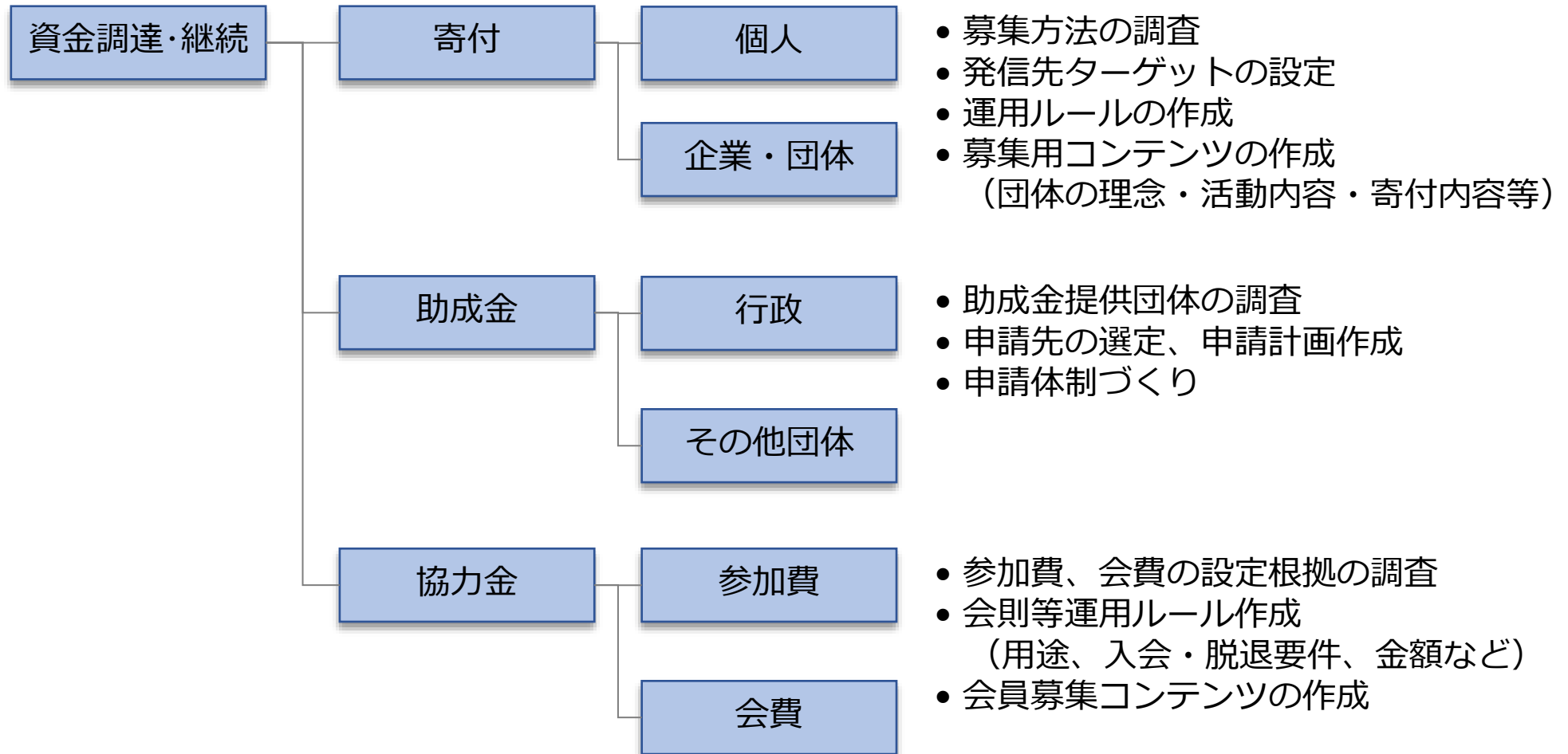
- 現スタッフの意向確認
 - スタッフの要件、役割、業務内容、条件などの明確化
 - 運営体制の再構築、人材募集
 - 各業務のマニュアル化
- 現指導者の意向確認
 - スタッフの要件、役割、業務内容、条件などの明確化
 - 運営体制の再構築、人材募集
 - 現地指導のマニュアル化
- ボランティアの要件、役割、業務内容などの明確化
 - 募集要項作成とトライ、課題抽出
 - 募集要項見直し

4. 現状の課題と対応策

■ 今後の課題と対応策（案） - 2/2

持続的・安定的な運営基盤を構築するために・・・

必要なアクション（案）



4. 現状の課題と対応策 ■ Next Steps

ステップ1：対応策の優先度設定

- ・ 中間報告での検討結果を受けて整理

ステップ2：対応策の実施スケジュール策定

- ・ 上記を受けて1年間の運営計画を作成

4. 現状の課題と対応策 ■ 対応策の優先度設定（ヒト）

ステップ① 課題の棚卸・整理



団体が目指す社会的成果

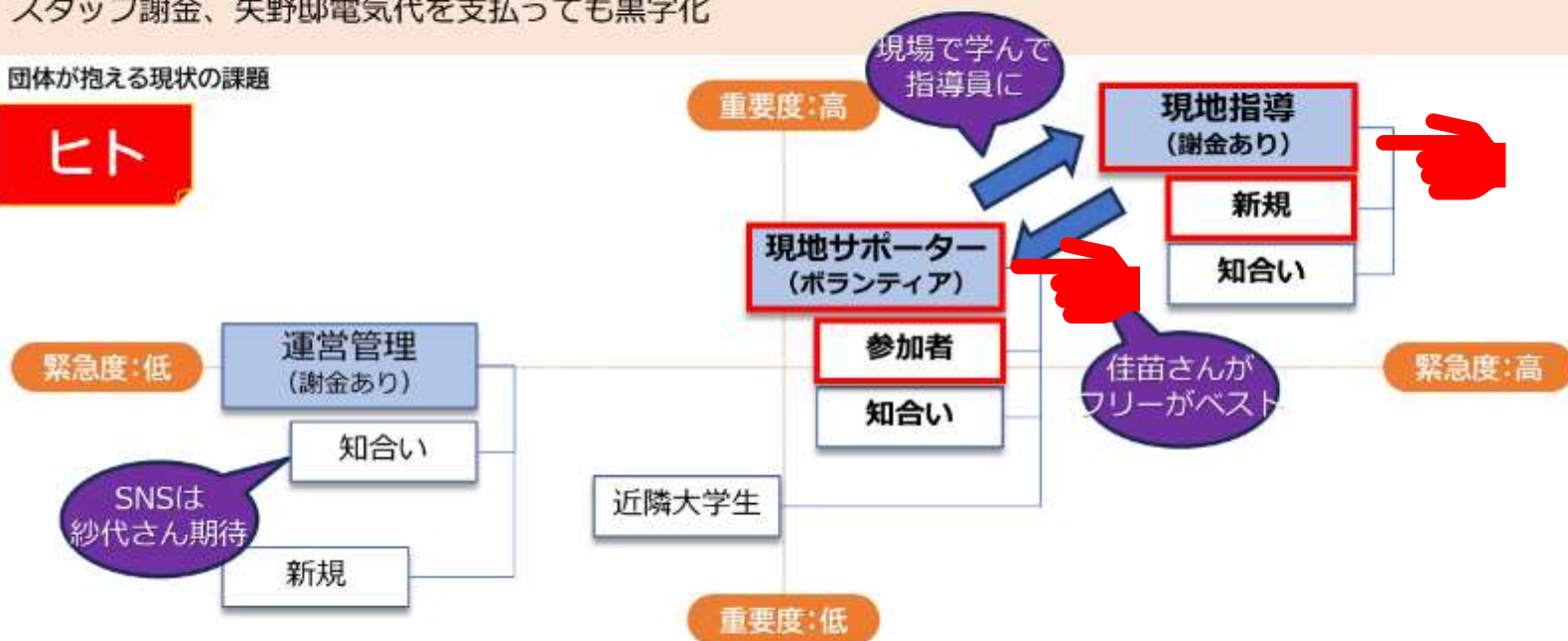
災害時にも対応できる、持続可能な暮らしを、大人も子どもも地域の方も街に住む方も年寄りも、自分にできること・得意なことをして助け合いながら繋がり合い楽しく遊びながら暮らしを紡ぐモデルとなる。

今後の活動目標

スタッフ謝金、矢野邸電気代を支払っても黒字化

団体が抱える現状の課題

ヒト



■ 現地活動体制の充実（佳苗さんのフリー時間を増やす）

1. 現地指導者、サポーター（将来の指導者）の募集（発信）強化
2. 現場指導員、サポーターの参加率の向上
3. 佳苗さんの現場指導業務の改善

佳苗さんの
ご意見

4. 現状の課題と対応策 ■ 対応策の優先度設定（カネ）

ステップ① 課題の棚卸・整理



団体が目指す社会的成果

災害時にも対応できる、持続可能な暮らしを、大人も子どもも地域の方も街に住む方も年寄りも、自分にできること・得意なことをして助け合いながら繋がり合い楽しく遊びながら暮らしを紡ぐモデルとなる。

今後の活動目標

スタッフ謝金、矢野邸電気代を支払っても黒字化

団体が抱える現状の課題



■ 活動資金の安定調達の仕組み構想（スタッフ謝金、光熱費を支払える）

1. 寄付募集実施に向けた活動内容の整理
2. 参加費についての再設計（子ども食堂と活動のすみ分けなど）

佳苗さん
ご意見

5. 今後の運営計画

■課題1：現地活動体制の充実

■あるべき姿（2～3年後）

持続的・安定的な運営基盤が構築されている

- ・月2回開催、毎回15～20名参加
- ・スタッフへの謝金、光熱費支払
- ・現場指導員、広報業務の充足

■課題と目標

課題1：現地活動体制の充実

【目標】佳苗さんのフリー時間を増やす

課題2：活動資金の安定調達の仕組み構想

【目標】スタッフ謝金、光熱費を支払える

■方策展開と目標設定へのシナリオ

方策	目標	具体的実施項目
現地指導者、サポーター（将来の指導者）の募集（発信）強化	HPでの募集の発信 【期限：年内開始】	①活動内容のPR情報、情報発信見直し 7月 ②人選マニュアル、情報発信ツール作成 11月 ③情報発信準備 12月
現場指導員、サポーターの参加率の向上	次期活動計画の作成 【体制整備後】	①現指導員、サポーターのニーズ把握 ②ニーズ実行の課題抽出、対策案作成 ③下期計画（参加率達成）作成
佳苗さんの現場指導業務の改善	業務半減案の作成 【体制整備後】	①現場業務の洗い出し、スキル明確化 ②スキルのレベル分け、スキル習得案作成 ③業務半減計画の作成

■現状の姿

- ・スタッフが少なくイベント運営が安定しない
- ・企画～運営全般に至るまで、佳苗さんの負荷が大きい
- ・スタッフの好意に全面的に支えられており、謝金を払うことができていない
- ・スタッフ都合に依存するため、早めにスケジュール/プログラム内容を確定することができない
- ・収支が赤字で、現在の運用では黒字化の目途が立たない

■課題

推進のための支援体制づくり

5. 今後の運営計画

■課題2：活動資金安定調達の仕組み構想

■あるべき姿（2～3年後）

持続的・安定的な運営基盤が構築されている

- ・月2回開催、毎回15～20名参加
- ・スタッフへの謝金、光熱費支払
- ・現場指導員、広報業務の充足

■課題と目標

課題1：現地活動体制の充実

【目標】佳苗さんのフリー時間を増やす

課題2：活動資金の安定調達の仕組み構想

【目標】スタッフ謝金、光熱費を支払える

■方策展開と目標設定へのシナリオ

方策	目標（9月末）	具体的実施項目
寄付募集実施に向けた活動内容の整理	寄付金募集 【期限：12月開始】	①活動内容のPR情報、情報発信見直し 7月 ②寄付マニュアル、情報発信ツール作成 11月 ③情報発信、初期流動評価 12月
参加費についての再設計	新規参加費での募集 【期限：10月試行】	①他団体情報の収集、分析 7月 ②下期参加費目標の設定（寄付配慮） 9月 ③下期プログラム（参加人数確保）の作成 10月

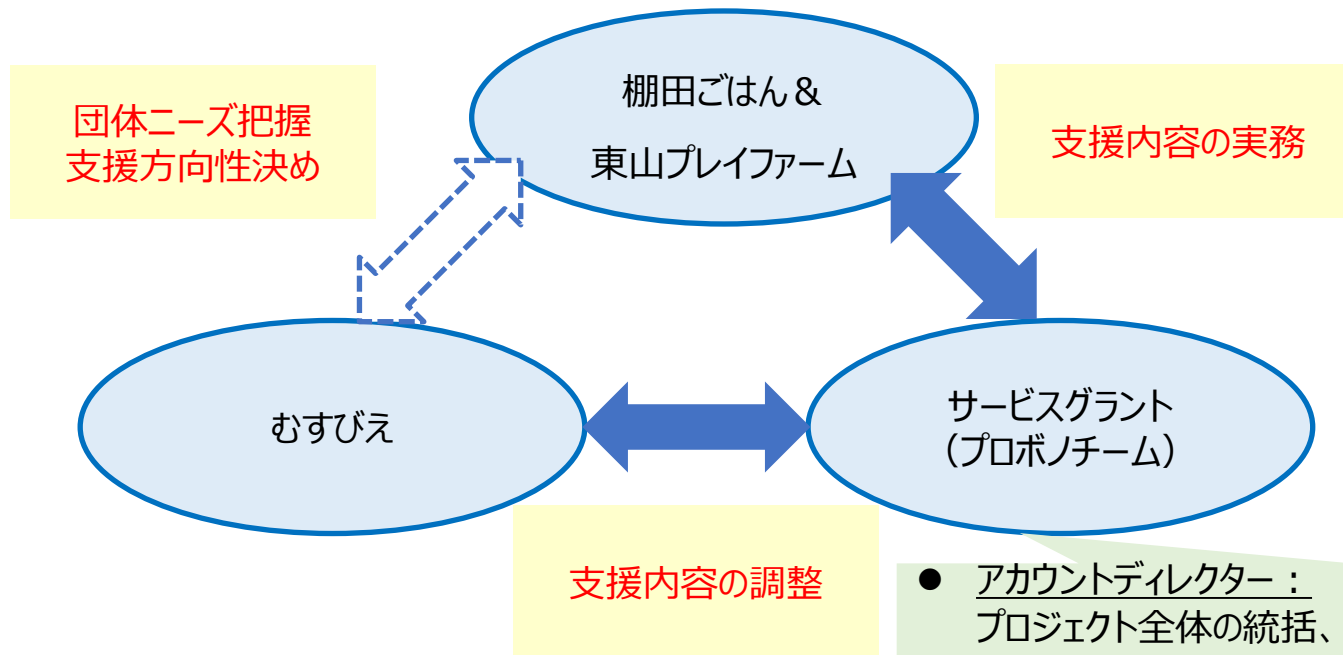
■現状の姿

- ・スタッフが少なくイベント運営が安定しない
- ・企画～運営全般に至るまで、佳苗さんの負荷が大きい
- ・スタッフの好意に全面的に支えられており、謝金を払うことができていない
- ・スタッフ都合に依存するため、早めにスケジュール/プログラム内容を確定することができない
- ・収支が赤字で、現在の運用では黒字化の目途が立たない

■課題

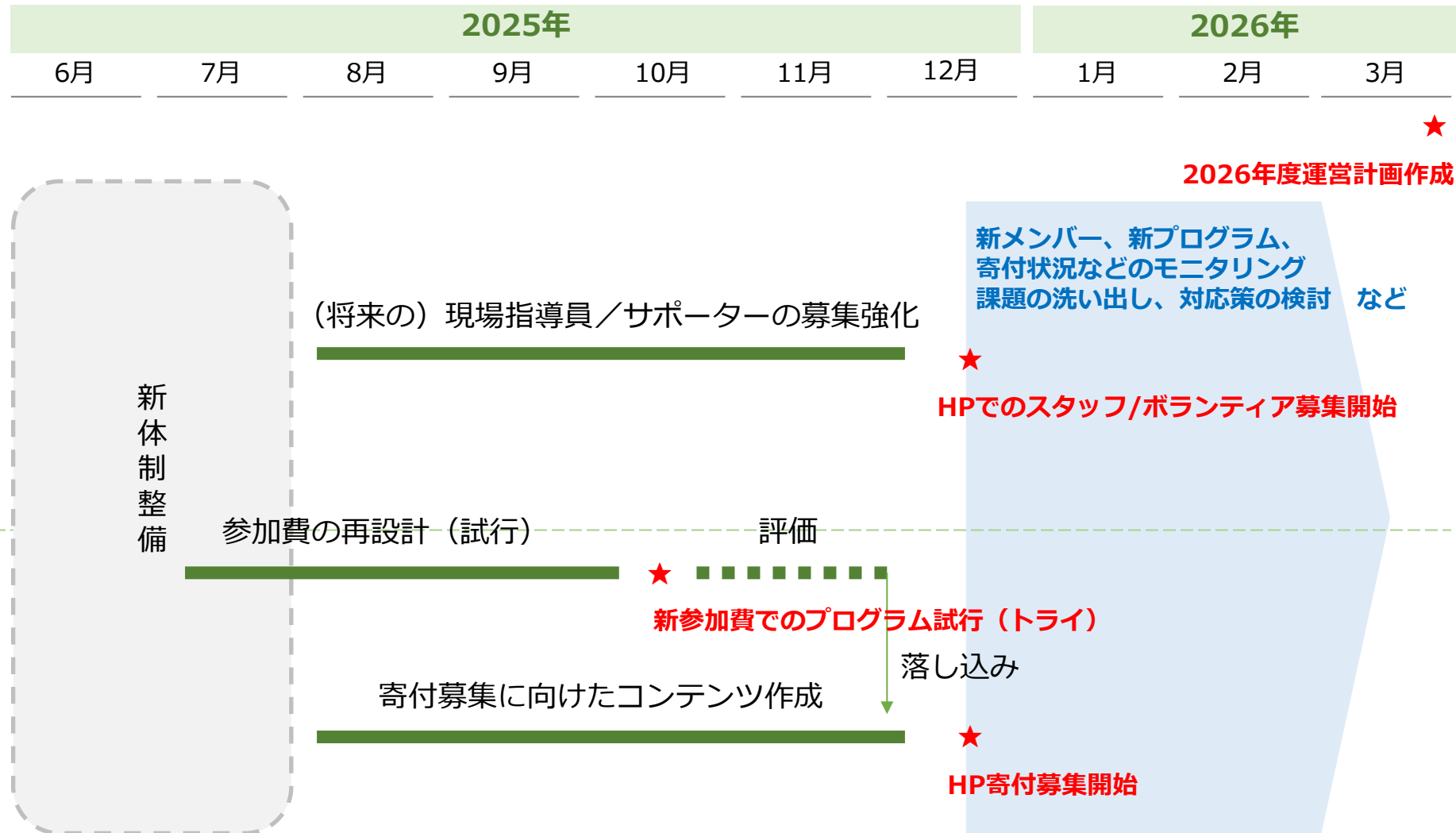
推進のための支援体制づくり

5. 今後の運営計画 ■ 支援プロジェクト体制



- アカウントディレクター：
プロジェクト全体の統括、チームの窓口としてのコミュニケーション、進捗管理、品質管理
- マーケター／ビジネスアナリスト：
ヒアリングや各種調査を踏まえた成果物の作成、言語化／見える化作業
- コピーライター：
成果物のひとつとなる情報発信用コンテンツの作成（レイアウト、キャッチコピー、効果的な文章表現等）
- Web制作者：
ホームページのデザイン、構築、運用ルールを作成

5. 今後の運営計画 ■全体スケジュール



参考資料

- 自然活動団体の参考事例
- 参加費検討案
- 他団体HPの参考事例
- ホームページの構成案
- 業務改善のための業務の見える化案

■ 自然活動団体の参考事例

【自然体験活動を行っている団体の活動事例（HPより）】

	活動主旨	スタッフ募集	ボランティア募集	参加費用
認定NPO法人 夢職人	子どもと若者の学び や育ちを社会全体で 支える	消防庁認定の上級救 命技能認定講習会の 受講	年会費：3,600 交通費・食事代など 実費負担	焚火で焼こう棒パン 作り（日帰り） 6,000
YMCA熊本	子どもたちのもとも と持つ、自ら育つ力 を育てていきます		ワークボランティア 野外活動リーダー	年登録費：9,900 日帰り：7,440
People Active Life	子どもたちのたくま しく生きる力を育む		ボランティアリーダ 交通費支給 上限1,500円	お試し：6,000
ジャパンアウトドア ファクトリー		ボランティア経験は 問いませんが、野外 活動のプロフェッシ ヨナルを目指す人	ともに子どもたちの ために頑張る仲間 交通費支給	お試し：3,000
こども自然教室	同じメンバーで子ど も達が成長し合える	子供達の成長に寄り そえる人、資格不要 1,200～1,400円/h	子供達と元気に活動 したい人 交通費・昼食代支給	お試し：5,000
広島市青少年野外活 動センター・こども村	こどもたちの心の成 長や人とのつながり 作りに貢献			親子農園 植付～収穫（4回） 4,500/家族

■ 自然活動団体の参考事例

【ボランティア募集事例：広島市青少年野外活動センター・こども村】

次世代アウトドアリーダーの育成のために

大学生ボランティア募集中！

こどもたちを対象とした主催事業の運営に参加し、こどもたちの学びのサポートする大学生ボランティアスタッフを募集しています。

主催事業でのこどもたちとの関わりを通じて、こどもたちへの声のかけ方や人間関係のつくり方について学ぶ機会を作っています。

自然教育の理論を取り入れた研修や専門講師によるレクリエーション指導、ボランティアミーティングなどを通じて、さらなるスキルアップの機会を提供しています。

私たちと一緒に活動してみませんか？



アウトドアリーダー入門講座

ボランティア登録をして活動に参加しよう！

■■■活動参加までの流れ■■■

- ①ボランティア登録を行う。[登録フォームはこちら](#)
- ②登録メールアドレスに、主催事業の募集案内が送付される。
- ③募集案内から、参加申込を行う。
- ④青少年野外活動センターから事前研修や当日の案内が送付される。
- ⑤活動に参加する。

参加は難しいかもしれないけどボランティアの情報がほしい人、登録するだけの人も大歓迎です！

新しいことに挑戦してみたい人、自分を成長させたい人、やりたいことが分からなくて自分探し中の人も大歓迎です！



【ボランティアの遵守事項】

- 1.活動に目的を持ち、何事にも積極的にチャレンジし、参加者だけでなく、自らも楽しめるよう活動します。
- 2.施設職員の指導・指示に基づき活動し、ボランティアとしての資質向上に努めます。
- 3.施設で定められた利用方法を守って活動します。
- 4.施設職員及び他のボランティアスタッフとも協調性をもって活動します。
- 5.活動時、相手が不快に思うような行動は慎みます。
- 6.活動時、施設職員からの指示もなく、無断でカメラ等によって参加者を撮影しません。
- 7.活動によって知りえた個人情報については第三者に漏らしません。
- 8.些細なことであっても、施設職員へ報告・連絡・相談を心がけます。

■ 自然活動団体の参考事例

【参加者募集の参考例：広島市青少年野外活動センター・こども村】

農業体験してみませんか？

令和6年度 農 作 ご よ み

広島市青少年野外活動センター・こども村

ファミリーでも
OK!

農 作 物	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
ブルーベリー				●●●●●	●●●●●		
サツマイモ①	○○○					●●●●●	
サツマイモ②	○○○	○				●●●●●	
サツマイモ③		○○○				●●●●●	
サツマイモ④		○○○				●●●●●	
エダマメ							●
ジャガイモ		●●●●●					
玉ねぎ①	●●●●●						
玉ねぎ②	●●●●●	●●●●●					
イチゴ①	●●●●●						
イチゴ②	●●●●●	●●●●●					
スイートコーン①				●●●●●			
スイートコーン②					●●●●●		
ミニトマト			●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●		
ピーマン			●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●		
ナス			●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●		
キュウリ			●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●		
ゴーヤ			●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●		
落花生					●●●●●●●●●●		

農業体験申込みの流れ

- ・電話か来所により、予約状況を確認の上お申し込みください。
(受付時間: 8:30~17:15)
- ・農業体験は、利用日の6ヶ月前の月初めから先着順で受け付けます。

↓

- ・必要書類をFaxかE-mailで、ご提出ください。(書類の様式は当施設のホームページをご覧ください。)

※ お申し込みいただけるのは、こども(年少~高校生まで、またはそれに該当する年齢の方)を含む団体のみです。



※ ○は、植え付け体験、●は、収穫体験

※ サツマイモの苗植え及び野菜・果実の収穫は、職員の指導のもと活動を行います。

※ イチゴの収穫体験は、必ずサツマイモの苗の植え付け体験もしくは、除草作業を同日に行うことになります。

※ 収穫体験には、除草等の軽農作業、収穫後の畑の清掃や整地が含まれます。

※ 収穫した作物は、その場で食したり、野外炊飯で利用したり、あるいは持ち帰ったりすることができます。
ただし、イチゴについては持ち帰りはできません。

※ 当日の天候等により、実施できない場合があります。

※ 天候等により生育状況が変わるため、収穫作物や収穫時期が変わる場合もあります。
(詳しくは、お問い合わせください。)

■ 参加費検討案

1. 活動メニュー（3つ）毎に料金を設定する ⇐ アンケート、議論参考
2. 子供食堂の料金は低額にし、単価は一律とする ⇐ 補助金、寄贈、自給自足で賄う
3. 大人も子供も同額とし、保護者同伴の場合は割引を設定する ⇐ 保護者参加を促す
4. 人数が増えると（3人以上）参加費を抑制する ⇐ アンケート意見考慮

メニュー	1人	2人	3人目 (△100)	4人目 (△200)	保護者 同伴割引
午前活動	300	600	800	900	△200
子供食堂	100	200	300	400	0
午後活動	300	600	800	900	△200

子どものみ	1日新規料金	700	1400	1900	2200	0
	1日現在料金	300	600	900	1200	
	差額	+400	+800	+1000	+1000	
保護者 1名同伴	1日新規料金	—	1000	1500	1800	△400
	1日現在料金	—	800	1100	1400	
	差額	—	+200	+800	+800	
保護者 2名同伴	1日新規料金	—	—	1500	1800	△400
	1日現在料金	—	—	1300	1600	
	差額	—	—	+200	+200	

■ 参加費検討案

【新規参加費での収入の増減シミュレーション】

メニュー	1人	2人	3人目 -100	4人目 -200	保護者 同伴割引
午前活動	300	600	800	900	-200
子供食堂	100	200	300	400	0
午後活動	300	600	800	900	-200
半日	400	800	1100	1300	-200
全日	700	1400	1900	2200	-400

現状料金試算の条件

・子供：300円

・大人：500円

※半日参加：全日参加と同額

全日参加	10	10	10	20	20	20
全日保護者同伴	2	0	5	0	5	10
3人以上	1					
4人以上	1					
半日参加	10	0	0	0	0	0
半日保護者同伴	2	0	0	0	0	0
3人以上	1					
4人以上	0					
新料金合計	8,900	7,000	5,000	14,000	12,000	10,000
現状料金合計	6,800	3,000	4,000	6,000	7,000	8,000
差額	2,100	4,000	1,000	8,000	5,000	2,000

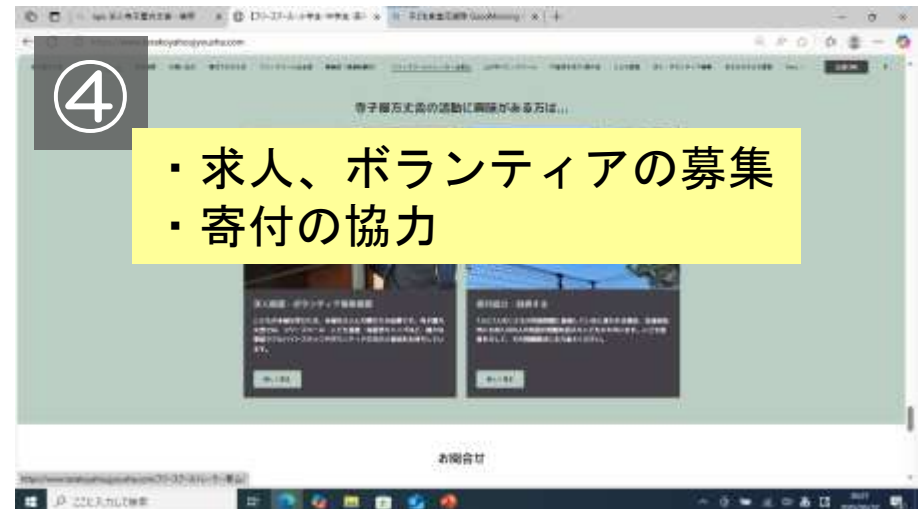
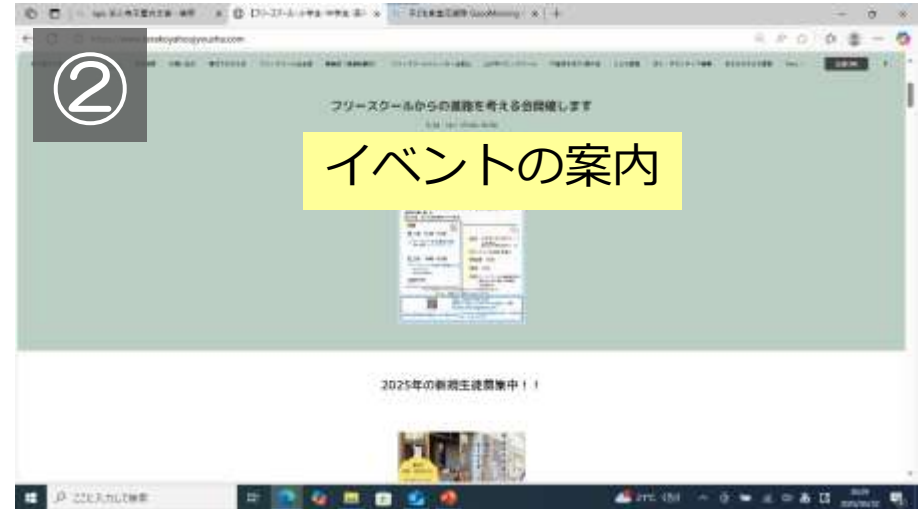
■ 他団体HPの参考事例

【NPO法人寺子屋方丈の概要】

団体概要	法人設立：2001年2月27日（任意団体設立1995年5月1日） 所在地：会津若松市 営業時間：火曜日～土曜日 10:00～18:00 定款・就業規定・給与規定・リスク管理規定・経理規定など有り
活動概要	子ども食堂（週2回） 小～高校生対象の学校外の学びの場（フリースクール5ヶ所） 自分の中での選択肢を増やしてゆく学びの実践、「子ども主体の学び」の実践
参加者数	こども食堂 4ヶ所：延べ1769人（233回実施） ボランティア参加延べ人数：489人
運営スタッフ数	常勤8名 非常勤1名（2020年9月現在）
人材確保の方法	HPにて 地域×フリースクール×サポーターで運営！ マンスリーサポーター（フリースクール）100人集める アルバイト募集：ジブン塾の学習支援スタッフ（時給 1,100 円（交通費込み） ボランティア募集：こども食堂の調理・遊び・学習ボランティア、フリースクール
資金調達の方法	地域連携によるこどもの社会参画プロジェクト：月500円～10,000の寄付 全体の7割がこども食堂、3割がフリースクール 助成金：行政、赤い羽根共同募金、日本財団など
広報活動	HP、Facebook、公式LINE、Instagram
運営上の課題	ボランティアの継続参加、教育が課題

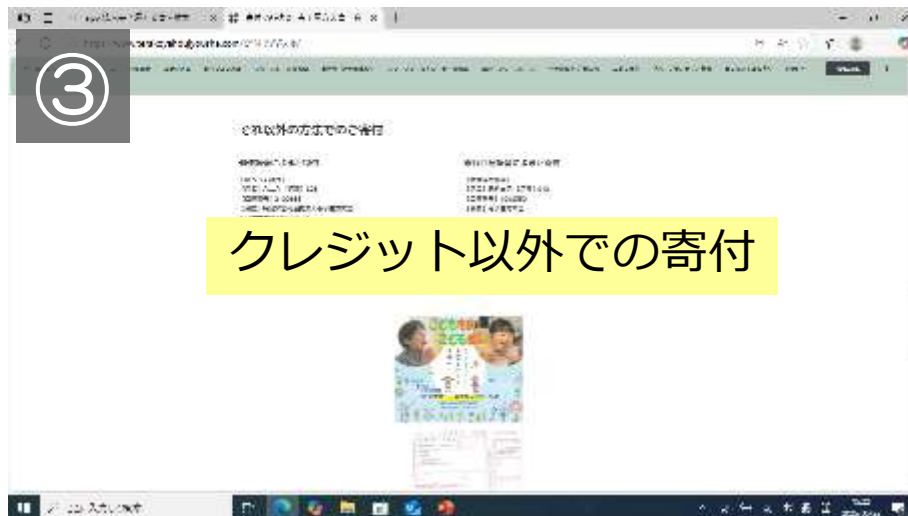
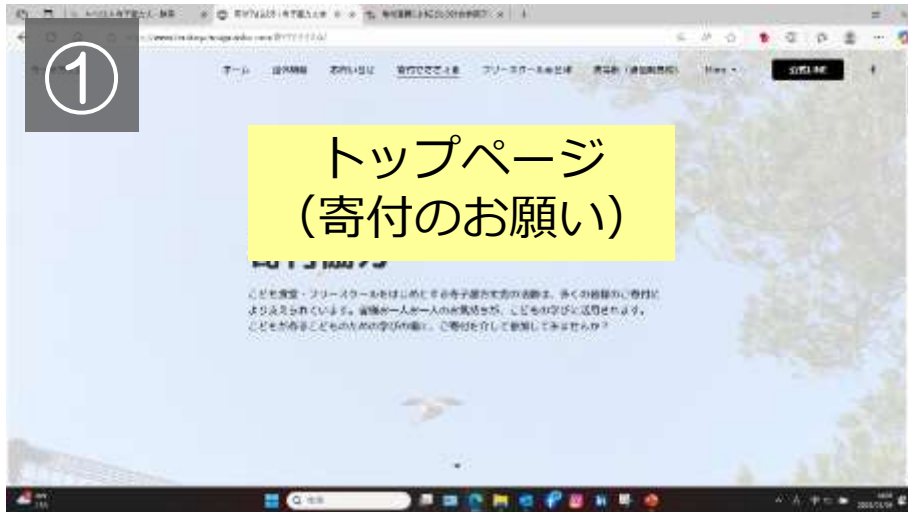
■ 他団体HPの参考事例

【NPO法人寺子屋方丈のトップページの事例】



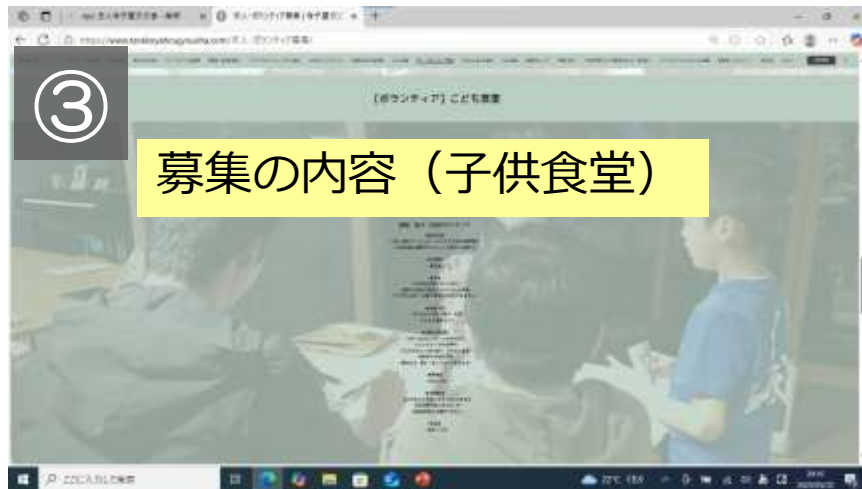
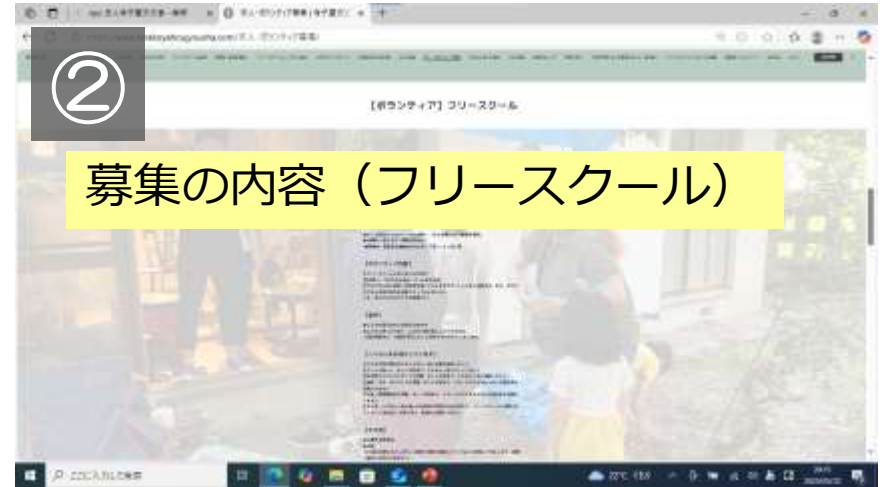
■ 他団体HPの参考事例

【NPO法人寺子屋方丈の寄付募集の事例】



■ 他団体HPの参考事例

【NPO法人寺子屋方丈のボランティア募集の事例】



■ 他団体HPの参考事例

【クラウドファンディングの参考事例：「夕焼けぽっぽ食堂」支援】



■ ホームページの構成案

ホーム	団体概要	東山プレイファーム／棚田ごはん	東山クリエイティブスクール 空sola	寄付でささえる	スタッフ募集
- 活動場所紹介 - イベント - 参加募集 - などのお知らせ	- ビジョン - ごあいさつ - 団体概要	- コンセプト - プログラム内容 - スケジュール - 活動の様子 (Facebook) - 利用料 - 申込み - お問い合わせ - など	- コンセプト - プログラム内容 - スケジュール - 活動の様子 (Facebook) - 利用料 - 申込み - お問い合わせ - など	- 対象の活動 - クレジットカードでの寄付 - その他方法での寄付 - 団体情報 (メール・電話・住所・営業時間・地図) - など	- 活動内容 - 活動の雰囲気 - 募集要件 - 報酬 - こんな人をお待ちしています！ - お問合せ - など

※ 寺子屋方丈舎のHPを参考

■ 業務改善のための業務の見える化案

■ 全般業務の見える化の参考例

順番	業務内容	時期	業務レベル		
			S 高いスキルが必要	A 知識・経験があればできる	B 初心者でもできる
1	年間プログラム作成				
2	現地指導者の都合確認				
3	日程・プログラムの決定				
4	参加者募集案内	1 か月前			
5	準備（材料・現地）				
6	参加者の確定				
7	実施判断・積込み	前日			
8	運搬	当日			
9	現地業務	//			
10	片付け				
11	育成・獣害対策等				

■ 業務改善のための業務の見える化案

■ 現場指導業務（農体験）の見える化の参考例

順番	業務内容	時間	業務レベル		
			S 高いスキルが必要	A 知識・経験があればできる	B 初心者でもできる
1	待ち時間見守り			ケア	
2	準備（材料・道具）			作業内容の基礎知識	
3	引率・運搬			ケア	コミュニケーション
4	作業説明		専門知識・うんちく	作業内容の基礎知識	
5	作業指導			作業内容の基礎知識	
6	作業補助			ケア	コミュニケーション
7	片付け・積み込み				
8	次作業見守り				

補足：運営計画書ひな形

■あるべき姿（2～3年後）

■課題と目標

■現状の姿

■方策展開と目標設定へのシナリオ

方策	目標	具体的実施項目

■課題